

雑報

○令和元（2019）年度「東北大学法学会賞」は次の8名が受賞した。

法学部

小野寺 晴香

菊地 理沙

仕切 優聖

山口 真哲

法学研究科

簡 至鴻（研究大学院・博士）

森田 翔平（研究大学院・修士）

長谷川 雄大（法科大学院）

永井 春樹（公共政策大学院）

○昆野明子氏，令和2（2020）年4月1日付で検察庁より本研究科教授（刑事実務担当）に転任。

○佐藤久貴氏，令和2（2020）年4月1日付で裁判所より本研究科教授（民事裁判担当）に転任。

○諸岡慧人氏，令和2（2020）年4月1日付で東京大学より本研究科准教授（行政法担当）に転任。

○信濃孝一教授，令和2（2020）年3月31日付で任期満了により辞職。

○武内弘樹教授，令和2（2020）年3月31日付で辞職（検察庁へ復帰）。

○中原茂樹教授，令和2（2020）年3月31日付で辞職（関西学院大学へ転出）。

○西岡慶記教授，令和2（2020）年3月31日付で辞職（裁判所へ復帰）。

○糠塚康江教授，令和2（2020）年3月31日付で定年により退職。

○水野紀子教授，令和2（2020）年3月31日付で定年により退職。

○令和元（2019）年度の博士号の授与は次の通りである。

課程博士

Egas Moniz Bandeira

「China and the Globalisation of Constitutions

Constitutional Thought in the Qing Empire (1838-1911)

近代中国と憲法の世界的展開

— 清末期の憲法思想の形成と発展（1838～1911） —

鈴木美南

「A Consideration of Japan's Participation in International Military Operations:

Elaborating the Normative Principles of Just War Theory」

簡 至鴻

「台日における危険運転致死傷罪についての研究—運転行為の危険性と因果性を中心に—」